

## 「金融庁・日本銀行の更なる連携強化に向けた取り組み」の公表について

▼日本銀行は、金融庁との連携を更に強化し、金融機関の負担にも配慮したより質の高いモニタリングの実施に取り組んでいくために、昨年十一月、「金融庁検査・日本銀行審査の連携強化に向けたタスクフォース」(注)を立ち上げ、金融業界との意見交換を含め、精力的に議論を行ってきました。

▼こうした検討を踏まえ、今般、金融庁と日本銀行は、金融モニタリングでの連携強化やデータの一元化などについて、これまでの取り組み状況と今後の方針を整理し、「金融庁・日本銀行の更なる連携強化に向けた取り組み」を公表しました。

▼日本銀行は、今後とも金融庁と適切に連携しながら、わが国金融システムの安定確保を図っていく方針です。

公表文は全文を日本銀行ホー

ムページに掲載しておりますのでご覧ください。



(注) タスクフォースについては、広報誌にちぎん二〇二二年春号トピックスで詳述。

## 国際コンファランスをオンラインで開催

▼一九八三年以来、日本銀行は、金融研究所において国内外の著名な経済学者や中央銀行関係者を招いた国際コンファランスを開催しています。今年度は、「Adapting to the New Normal: Perspectives and Policy Challenges after the COVID-19 Pandemic」(テーマ：ノーマルへの適応：COVID-19後の展望と政策課題)をテーマとして、五月二十四日、二十五日に初めてオンラインで開催しました。

▼黒田東彦総裁による開会挨拶に続いて、マサチューセッツ工科大学オリヴィエ・ブランシヤール名誉教授による前川講

演(金融研究所発足時(一九八二年)の前川春雄総裁の名を冠したスピーチ)が行われた後、参加者の間でコロナ後の経済展望や政策課題について、幅広い観点から活発な議論が展開されました。



開会挨拶を行う黒田東彦総裁 (撮影：中島美沙)

## 日銀ネット国債系と香港ドル即時クロス決済システムとの間のクロスボーダーDVPリンクの運用開始について

▼日本銀行では、決済リスク削減などの観点から、日銀ネット国債系と香港ドル即時クロス決

済システム(注)との間のクロスボーダーDVP (Delivery Versus Payment)リンクの構築に向けた対応を行ってきました。今般、所要の対応を終え、香港金融管理局とともに運用開始に特段の支障がないことを確認し、予定どおり二〇二二年四月一日に同DVPリンクにかかる業務の運用を開始しました。

▼クロスボーダーDVPリンクは、異なる通貨建てで表示される証券と資金を交換する取引(例えば、クロスカレンシーレポ)の決済において、資金の支払いが行われる場合のみ証券が受け渡されること(DVP)を確保するために、これらの証券・資金決済システムを運営する中央銀行などの間で、決済システムを直接接続するものです。

▼クロスボーダーDVPリンクは、日本国債を利用して直接外貨(本件においては、香港ドル)を調達する取引について、市場が不安定化した時においても、

金融機関が安定的に外貨調達を行うことを決済の面から後押しする効果が期待されます。クロスボーダーDVPリンクの実現により、クロスカレンシー・レポ市場の厚みが増せば、資金調達手段の多様化につながるものと考えています。また、クロスボーダーDVPリンクにより、信用リスクのない中央銀行などの口座を用いた日本国債と外貨のDVP決済が実現することを通じて、担保資産としての日本国債の有用性や利便性の向上にも資すると考えています。

(注) 即時グロス決済システム…中央銀行における金融機関間の口座振替の手法の一つで、金融機関から中央銀行に口座振替指図が持ち込まれ次第、一つひとつ直ちに決済が実行される仕組み。

### 中央銀行デジタル通貨に関する実証実験を開始

▼日本銀行は、四月五日に、中央銀行デジタル通貨(CBDC)の基本的な機能などが技術的に実現可能かどうかを検証するた

めの実証実験(概念実証フェーズ1)を開始しました。

概念実証フェーズ1では、システムの試験環境を構築し、決済手段としてのCBDCの中核をなす発行、送金、還収などの基本機能に関する検証を行います。

実施期間は、二〇二二年三月までの一年を想定しています。

▼また、概念実証に関する情報を共有し、今後の進め方について協議することを目的として「中央銀行デジタル通貨に関する連絡協議会」を立ち上げ、三月二十六日に第一回会合を開催しました。

### 官民一体で

### 「キャッシュレス納付

### 共同推進宣言」を行いました

▼日本銀行は、「政府の銀行」として、国庫金事務のデジタル化を進めています。行政のデジ

タル化が加速する中、納付者の利便性や社会全体の効率性の向上に資するよう、関係官庁や

金融機関と連携して、インターネットバンキングなどを活用したキャッシュレス納付の普及に取り組んでいます。

こうした取り組みの一つとして、東京国税局や同局管内の一都三県(千葉、神奈川、山梨)その他関係団体とともに、国税・地方税に関するキャッシュレス納付の利便性の周知や普及促進に向けて、官民一体で協議を重ねてきました。その中で、より多くの方々がデジタル化のメリットを得られるよう、取り組みの裾野を広げる観点から、税

理士会や納付者団体、金融機関などに幅広く参加を呼びかけ、五月二十四日、一二六団体による共同宣言を行いました。同日開催された宣言式は、リモート会議での参加を併用する形で行われ、日本銀行からは、業務局、横浜支店および甲府支店が参加しました。

今回の宣言に合わせて、国税・地方税共通のリーフレットや手続を紹介する動画が作成され、

各参加団体がこうした新しい広報物を活用して、納付者へのさらなる周知・広報に取り組んでいくことが共有されました。

▼日本銀行としては、今後とも本支店において、全国各地の税務当局や金融機関と連携し、「いつでも・どこでも・便利な」キャッシュレス納付の一層の利便拡大に向けて、経済団体や企業への働きかけを進めてまいります。



「キャッシュレス納付共同推進宣言」宣言式の様子(右から3番目が日本銀行業務局長)

## 編集後記

■今号では、複数の分野で活躍しつつ、大学院教育も受けた女性お二方にご登場いただきました。インタビューでは、老舗花火屋の当主を務めつつ、花火の芸術性に関する研究で博士号を取得した一方で、東京五輪柔道の審判員にも選出された天野安喜子氏。対談ではタレント、テレビ制作会社の経営者にして、大学院に通いながら基礎老化学の研究を続けるいとうまい子氏。

人生100年時代を迎え、寿命が延びた分、われわれにはさまざまなことに挑戦できる時間が創出されました。天野氏やいとう氏に触発されて、読者の中には「何か新しいこと——スポーツ、ボランティア、事業、学問——にでも取り組もうか」と思い立った方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

国としても大きな問題である人口減少は、地域の底力でお伺いした離島である東京都大島町において、より明確に現れています。しかも、主力産業である観光はコロナ禍で打撃を受けています。もっとも、大島は噴火、台風などの度重なる自然災害を克服してきたという歴史も有しています。産業振興に向けての島を挙げての取り組みを知るにつけ、未来の成長への道筋が拓かれつつあるように思えました。頑張れ大島！ (渡邊)

## 【アンケート募集中】

「にちぎん」に関するご意見・ご感想は、アンケートよりお寄せください。

日本銀行のホームページからもご回答いただけます。

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

([https://www.boj.or.jp/announcements/koho\\_nichigin/index.htm/](https://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/))

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (<https://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2021年夏号  
編集・発行人 渡邊昌一  
発行 日本銀行情報サービス局  
〒103-8660  
東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
☎03-3277-2405



デザイン 株式会社市川事務所  
印刷 文唱堂印刷株式会社  
禁無断転載

## 「第一七回日銀グランプリ」 「キャンペーンからの提言」 論文募集中

応募締切：九月三十日（木）

▼「日銀グランプリ」は、学生の皆さんを対象に開催する、金融・経済分野の論文・プレゼンテーションコンテストです。

二〇〇五年度から毎年開催しており、今年度も応募論文を募集中です。

▼テーマは「わが国の金融・経済への提言」です。応募に当たっては、日本銀行ホームページ上の募集要項をお読みください。

多くの学生の皆さんからの斬新な提言をお待ちしております。



## 「おうちで学べる動画コンテンツ」を掲載しました

▼日本銀行ホームページの「学びの部屋」のページに、お札の

数え方を学ぶことができる動画

「おうちで、さつかん」、おこづかいの使い方や、記録のつけ方を学ぶことができる動画「親子で学ぶ、おこづかい教室」（協力：金融広報中央委員会）を掲載しました。また、おうちで本店見学ができる「おうちで、にちぎん」や銀行券の偽造防止を学べるページもご用意しております。

ぜひご覧ください。



なお、「おうちで、にちぎん」のページに、動画

「本店見学のみどころ」を追加しました。

▼「日本銀行の歴史的建造物」のページに、動画「辰野金吾・長野宇平治と日本銀行支店建築」を掲載しました。ぜひご覧ください。

